

救急医学講座

(高度救命救急センター，先進外傷治療学講座を含む)

著 書

- 1 阪本雄一郎：セングスターケン・ブレイクモアチューブ留置法. 今日の治療指針 2019年版 私はこう治療している Vol. 61, 107-108. 医学書院 2019, 1, 1.
- 2 阪本雄一郎：出血・虚血・穿孔・イレウス・下痢. 日本集中治療医学会 専門医テキスト第3版, 537-545. 真興交易(株)医書出版部 2019, 3, 25.

原著論文

- 1 *竹内正志, 中島正一, 東 治道, 阪本雄一郎：HELENICC スコアの長期予後予測能に関する検討. 日本急性血液浄化学会雑誌 10(2)：111-114, 2019, 12.
- 2 *岩村高志, 小山 敬, 松本 康, 甘利香織, 吉富有哉, 坂井ひかり, 阪本雄一郎：隣県とのドクターヘリ相互応援協定がもたらす影響評価. 九州救急医学雑誌 19(1)：1-6, 2019, 12.

総 説

- 1 阪本雄一郎, 本村陽一, 山下和也：大規模医療情報を利用した敗血症治療に関する医療経済学的分析と臨床応用の可能性. 月刊 Precision Medicine 2(5)：63-68, 2019, 5, 25.
- 2 阪本雄一郎：特集〈Clinical Science〉救急・集中治療領域の炎症と凝固障害 序. 炎症と免疫, 27(2)：31-32, 2019, 2, 20.
- 3 井上 聡, 永嶋 太：外傷外科を取り巻く最新のトピックス 2. Damage control resuscitation. 日本外科学会雑誌 120(3)：276-281, 2019, 5.
- 4 阪本雄一郎：病院前から医療機関への診療情報の共有化の利点と課題. 医学と薬学 76(9)：1269-1273, 2019, 8, 27.
- 5 阪本雄一郎：屋内・狭域イベント；スタジアム競技・コンサートイベントなど. 救急医学 43(13)：1753-1758, 2019, 11, 10.
- 6 永嶋 太, 井上 聡：【特集1：Open Abdomen Management の工夫】 Damage control surgery 後 open abdomen management (OAM) の腹壁閉鎖困難症例に対する手術治療戦略. Japanese Journal of Acute Care Surgery, 9(2)：210-215, 2019, 11.
- 7 井上 聡：外傷外科診療の立ち上げ, 改革, そして最前線へ. きんむ医12月号, No. 191：54-61, 2019, 12.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Nagashima F, Inoue S: High-dose FXIII administration is a promising treatment option for trauma-associated coagulopathy. PPTC2019-7th Pan-Pacific Trauma Congress 2019 Korea/34th Annual Meeting of Korean Society of Traumatology, (Korea-Japan Symposium I: Bench to Bedside). 2019, 4, 4-6. abstract book.
- 2 Inoue S: Resuscitation Best Practices. ICEM 2019-18th International Conference on Emergency Medicine (Evening Workshop). 2019, 6, 13, Seoul, Korea. abstract book.

国内全国規模の学会

- 1 阪本雄一郎：佐賀県における救急医療の取り組み. 第15回日本消化管学会総会学術集会（パネル

- ディスカッション3 基調講演2). 2019, 2, 1-2. 第15回日本消化管学会総会学術集会 プログラム・抄録集 p155.
- 2 阪本雄一郎：敗血症性DIC治療における治療薬の可能性. 第46回日本集中治療医学会学術集会(パネルディスカッション17). 2019, 3, 1-3. 日集中医誌 第26巻, 2019, p72.
 - 3 中山賢人, 永嶋 太, 阪本雄一郎, 井上 聡, 岩村高志：重症肺炎による敗血症性ショックに対して, VA-ECMO から VV-ECMO へブリッジし, 集学的治療により救命した一例. 第46回日本集中治療医学会学術集会(口演20 感染・敗血症 症例04). 2019, 3, 1-3. 日集中医誌 第26巻, 2019, p99.
 - 4 *山下和也, 阪本雄一郎, 櫻井瑛一, 本村陽一：重み付けpLSA とベイジアンネットワークを用いたDPCの敗血症治療戦略への応用. 第46回日本集中治療医学会学術集会(口演51 コンピュータ). 2019, 3, 1-3. 日集中医誌 第26巻, 2019, p110.
 - 5 ○鶴田弥生, 北村真理, 松尾照美, 牟田和美, 梶島久美子, 永嶋 太, 櫻井良太, 直塚博行：重症患者管理チェックリストは多職種間の情報共有ツールとして活用できるか. 第46回日本集中治療医学会学術集会(口演 117 チーム医療02). 2019, 3, 1-3. 日集中医誌 第26巻, 2019, p134.
 - 6 ○松尾照美, 牟田和美, 鶴田弥生, 北村真理, 梶島久美子, 永嶋 太, 櫻井良太, 直塚博行：重症患者管理チェックリストはEICU入室患者のアウトカムに影響するか. 第46回日本集中治療医学会学術集会(口演 117 チーム医療02). 2019, 3, 1-3. 日集中医誌 第26巻, 2019, p134.
 - 7 岩永幸子, 永嶋 太, 品田公太, 中山賢人, 櫻井良太, 太田美穂, 鳴海翔悟, 岩村高志, 阪本雄一郎, 井上 聡：絞扼性腸閉塞によるARDSに対しECMO導入下にダメージコントロール戦略で救命した一例. 第46回日本集中治療医学会学術集会(口演135 多臓器関連). 2019, 3, 1-3. 日集中医誌 第26巻, 2019, p140.
 - 8 井上 聡：講師「鈍的腹部外傷総論」. 第55回日本腹部救急医学会総会(認定医制度セミナー1(分野I 疫学D. 外傷疾患)). 2019, 3, 7-8. 日本腹部救急医学会雑誌 Vol. 39: No. 2, 2019, p176.
 - 9 井上 聡：当科におけるoff-the-job trainingを取り入れた外傷外科診療システムと今後の課題. 第119回日本外科学会定期学術集会(ポスターセッション158 救急・外傷-全般-1). 2019, 4, 18-20. 日本外科学会雑誌, 第120巻臨時増刊号2019, p227.
 - 10 鳴海翔悟, 永嶋 太, 阪本雄一郎, 井上 聡：粉末状入浴剤, 固形石鹸を誤食し, 化学性肺炎を発症した一例. 第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会(ポスター14 多臓器不全, 集中治療). 2019, 5, 30-6, 1. 日本臨床救急医学会雑誌 第22巻第2号2019, p384.
 - 11 永嶋 太, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 松岡綾華, 井上 聡：Damage Control Ground Zeroから始めるTEGによる目標指向型輸血療法. 第33回日本外傷学会総会・学術集会(一般口演20 Damage Control Surgery). 2019, 6, 6-7. 日本外傷学会雑誌 第33巻第2号2019, p245.
 - 12 鳴海翔悟：炭酸リチウムを含む過量服薬に対し腎代替療法を行い改善したが, その後のオランザピン内服で悪性症候群となり治療に難渋した1例. 第41回日本中毒学会総会・学術集会(一般講演7 医薬品2). 2019, 7, 20-21. 抄録集 p145.
 - 13 八幡真由子, 阪本雄一郎, 江副優彦：当院での救急外来診療と入院加療における総合診療部と救急部の連携の実際. 第19回日本病院総合診療医学会学術総会(シンポジウム1 病院総合診療と救急・集中治療の連携). 2019, 9, 14-15. 抄録集 p116.

- 14 *阿部智一, 久志本成樹, 徳田安春, 杉山雄大, 小倉裕司, 藤島清太郎, 白石 淳, 斎藤大蔵, 真弓俊彦, 小森大輝, 入山大希, 戒能多佳子, 内藤俊夫, 阪本雄一郎, 丸藤 哲: 日本における重症敗血症および敗血症性ショック患者に対する積極的な抗生物質投与の現状. 第19回日本病院総合診療医学会学術総会 (一般演題1 臨床研究①). 2019, 9, 14-15. 抄録集 p233.
- 15 *入山大希, 阿部智一, 内藤俊夫, 小倉裕司, 白石 淳, 久志本成樹, 斎藤大蔵, 藤島清太郎, 真弓俊彦, 小森大輝, 戒能多佳子, 阪本雄一郎, 丸藤 哲: 非呼吸器感染症による敗血症性 ARDS の risk modifier の検討. 第19回日本病院総合診療医学会学術総会 (一般演題3 臨床研究②). 2019, 9, 14-15. 抄録集 p236.
- 16 *小森大輝, 阿部智一, 入山大希, 戒能多佳子, 内藤俊夫, 小倉裕司, 白石 淳, 久志本成樹, 斎藤大蔵, 藤島清太郎, 真弓俊彦, 阪本雄一郎, 丸藤 哲: 重症敗血症および敗血症性ショック患者における菌血症の有無による臨床的特徴と予後の比較. 第19回日本病院総合診療医学会学術総会 (一般演題15 臨床研究③). 2019, 9, 14-15. 抄録集 p255.
- 17 三池 徹, 阪本雄一郎: 災害に備えた備蓄薬剤と備蓄量の決定方法. 第34回日本救命医療学会総会・学術集会 (パネルディスカッション 医工・産学連携の取り組み). 2019, 9, 27-28. 抄録集 p35.
- 18 *中島厚士, 岩永幸子, 藤田 亮, 三池 徹, 阪本雄一郎: 佐賀県における大学病院と日赤病院の災害時連携の試み. 第47回日本救急医学会総会・学術集会 (口演17 災害医療1). 2019, 10, 2-4. 日救急医学会誌, 2019; 30: 665.
- 19 *佐藤友子, 八幡真由子: 県主催で行う災害医療従事者研修のあり方について. 第47回日本救急医学会総会・学術集会 (口演18 災害医療2). 2019, 10, 2-4. 日救急医学会誌, 2019; 30: 667.
- 20 *松田知也, 村田厚夫, 三宅 亮, 徳田隼人, 古城 都, 西中徳治, 永嶋 太, 阪本雄一郎: 100万都市における高齢者救急の今後: 当院が実践している“断らない救急医療”を振り返って. 第47回日本救急医学会総会・学術集会 (パネルディスカッション2 関連セッション2 救急医療のあり方—人生100年時代の救急医療). 2019, 10, 2-4. 日救急医学会誌, 2019; 30: 603.
- 21 *森下幸治, 井上 聡, 伊藤 香, 加藤 渚, 松島一英, 大友康裕: 病院前教育における米国外科学会 Bleeding Control コースの開催について. 第47回日本救急医学会総会・学術集会 (シンポジウム2 関連セッション2 不断前進, 病院前診療). 2019, 10, 2-4. 日救急医学会誌, 2019; 30: 595.
- 22 永嶋 太, 井上 聡, 櫻井良太, 八幡真由子, 三池 徹, 阪本雄一郎: 外傷性出血ショックに対する当センターの戦略—TEG/ROTEMによる目標指向型輸血療法—. 第47回日本救急医学会総会・学術集会 (パネルディスカッション19 外傷性出血性ショックの初期診療のあり方). 2019, 10, 2-4. 日救急医学会誌, 2019; 30: 570.
- 23 阪本雄一郎: DIC 治療への新たなモニタリング展望~外傷から敗血症性 DIC まで~. 第47回日本救急医学会総会・学術集会 (ランチョンセミナー16). 2019, 10, 2-4. 日救急医学会誌.
- 24 *加藤 渚, 森下幸治, 小島光暁, 井上 聡, 八木雅幸, 大友康裕: 医療職種別ターニケット多種類使用調査: 米国外科学会出血コントロールコースにおける検討. 第47回日本救急医学会総会・学術集会 (口演52 病院前医療6). 2019, 10, 2-4. 日救急医学会誌, 2019; 30: 706.
- 25 鳴海翔悟, 木村萌絵, 毛利耕輔, 松岡綾華, 品田公太, 吉武邦将, 永嶋 太, 阪本雄一郎: 平成30年度に当院に搬送された, 市中で購入可能な物品の内服による自殺企図症例の検討. 第47回日本救急医学会総会・学術集会 (ポスター47 中毒4). 2019, 10, 2-4. 日救急医学会誌, 2019; 30: 806.

- 26 *大中洋平, 堺 正仁, 樋口大空: SNRI (サインバルタ) 服用患者が整形外科手術後にセロトニン症候群を発症した一例. 第47回日本救急医学会総会・学術集会 (ポスター50 中毒7). 2019, 10, 2-4. 日救急医学会誌, 2019; 30: 810.
- 27 三池 徹, 阪本雄一郎: 災害時や急病時に役立つパーソナルヘルスレコードとは. 第47回日本救急医学会総会・学術集会 (口演66 災害医療3). 2019, 10, 2-4. 日救急医学会誌, 2019; 30: 721.
- 28 *森下幸治, 松島一英, 井上 聡: 米国外科学会 Bleeding Control Course. 第11回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会 (特別企画). 2019, 10, 25-26. 抄録集.
- 29 阪本雄一郎: 救急・災害時における患者情報伝達システム. 日本蘇生学会第38回大会(教育講演1). 2019, 11, 15-16. 蘇生 第38巻: 第3号, 2019, p125.
- 30 井上 聡: 講師. 第55回日本交通科学学会総会・学術講演会 (Bleeding control コースセッション). 2019, 6, 20-21. 抄録集.
- 31 中山賢人, 井上 聡, 阪本雄一郎: 当院集中治療室での周術期真菌感染症のマネジメントについて. 第32回日本外科感染症学会総会学術集会 (ワークショップ2 救急・外科領域での周術期真菌感染症の診断と治療 (マネジメント)). 2019, 11, 29-30. 日本外科感染症学会雑誌 Vol. 16(5), 2019, p52.

その他の学会

- 1 井上 聡: 実習1: 上肢, 症例1: 腋窩, 症例2: 上腕, 症例3: 前腕, 実習2: 下肢, 症例4: 大腿部, 症例5: 膝窩部/筋膜切開, 実習3: 頸部, 症例6: 鎖骨下-鎖骨上, 症例7: 頸動脈・内頸静脈, 気管・食道, 実習4: 胸部, 症例8: 胸骨正中切開・上行大動脈, 症例9: 左開胸・胸部大動脈, 症例10: クラムシェル開胸・tractotomy, 症例11: 近位鎖骨下動脈, 実習5: 腹部, 症例12: 骨盤パッキング, 症例13: 腸骨血管への後腹膜アプローチ, 症例14: Mattox 手技, 症例15: Kocher・IVC, 症例16: Kocher・Aorta, 症例17: 肝臓&後腹膜 IVC. 米国外科学会外傷手術トレーニングコース (ASSET). 2019, 1, 12-13, 千葉大学. 抄録.
- 2 阪本雄一郎: 現場・地域医療における利活用される先駆的 ICT. これからの医療データベースセミナー-診療支援システムとそのデータの利活用-. 2019, 1, 26. 抄録集.
- 3 阪本雄一郎: 急性腎不全を伴った DIC 対策. リコモジュリン Web 講演会 DIC の最適な治療を考える. 2019, 1, 28. 抄録集.
- 4 鳴海翔悟, 阪本雄一郎: 99さがネット基盤を活用した次世代型 PHR 環境の構築に関する研究および臨床応用可能な次世代型 PHR 環境の構築に関する研究. 平成30年度「パーソナル・ヘルス・レコード (PHR) 利活用研究事業」臨床および臨床研究の充実のための本人に関する多種多様な情報のデジタル化・ネットワーク化及び統合的な利活用を可能とする基盤技術に関する研究 (阪本班平成30年度第1回班会議). 2019, 1, 31. 抄録集.
- 5 阪本雄一郎: 感染と凝固の密接な関係-血液の性状を取り戻そう-. 埼玉県北敗血症治療セミナー (特別講演). 2019, 2, 8. 抄録集.
- 6 阪本雄一郎: AIS 2005 Update 2008 (講師). 日本外傷データバンク (JTDB) セミナー. 2019, 2, 17, 帝京大学. 抄録.
- 7 阪本雄一郎: 臨床および臨床研究の充実のための本人に関する多種多様な情報のデジタル化・ネットワーク化及び統合的な利活用を可能とする基盤技術に関する研究. 平成30年度 AMED ICT 関連事業 成果報告会. 2019, 3, 5. 抄録集 p28-29.

- 8 阪本雄一郎：佐賀県におけるリアルタイム救急・災害時支援システムのモデル構築. 平成30年度第27回好生館医学会総会. 2019, 3, 9. 抄録集.
- 9 井上 聡：卒後教育セミナー企画案代表者発表. 日本外科学会教育委員会. 2019, 3, 21. 抄録集.
- 10 阪本雄一郎：感染と凝固の密接な関係－血液の性状を取り戻そう－. 第4回北九州外科消化器・感染症フォーラム. 2018, 3, 28. 抄録集.
- 11 三池 徹, 阪本雄一郎, 安西慶三：二次的健康被害から住民を守る 災害対応アプリを活用した早期アクションの実現. 第4回災害時糖尿病医療支援活動WG会議. 2019, 5, 23. 抄録集.
- 12 阪本雄一郎：佐賀県におけるリアルタイム救急システムのモデル構築と応用. 令和元年度第1回全国メディカルコントロール協議会連絡会. 2019, 5, 30. 抄録集 p51-65.
- 13 井上 聡：外傷手術トレーニング（講師）. 第14回 DSTC（Definitive Surgical Trauma Care）日本語コース. 2019, 6, 3-5. 抄録.
- 14 阪本雄一郎：敗血症を診続ける！～恒常性を維持するためのDIC対策～. 山口救急フォーラム2019（特別講演I）. 2019, 6, 5. 抄録集.
- 15 阪本雄一郎：敗血症を診続ける！～恒常性を維持するためのDIC対策～. 第23回日本救急医学会九州地方会（ランチョンセミナー1）. 2019, 6, 14-15. 抄録集 p52.
- 16 三池 徹, 阪本雄一郎, 永嶋 太：高齢化と核家族化が進む日本における緊急時に備えた個人健康情報の必要性. 第23回日本救急医学会九州地方会（ワークショップ 高齢者救急に如何に対応すべきか－何が必要か－）. 2019, 6, 14-15. 抄録集 p46.
- 17 *岩村高志, 永嶋 太, 井上 聡, 江副優彦, 松岡綾華, 品田公太, 中山賢人, 櫻井良太, 岩永幸子, 太田美穂, 鳴海翔悟, 八幡真由子, 三池 徹, 阪本雄一郎：PRIMARY SURVEYで判断できない外傷性出血部位を考察する. 第23回日本救急医学会九州地方会（一般演題（ポスター）外傷）. 2019, 6, 14-15. 抄録集 p108.
- 18 *松田知也, 高松純平, 村田厚夫, 西中徳治, 永嶋 太, 阪本雄一郎：高リスク受傷機転の患者へのTERTIARY SURVEYの重要性の再認識－遅発性腸管損傷を経験して－. 第23回日本救急医学会九州地方会（一般演題（ポスター）外傷）. 2019, 6, 14-15. 抄録集 p109.
- 19 阪本雄一郎, 三池 徹：災害弱者に優しい安心安全なまちづくりを目指して. 認定NPO法人佐賀県難病支援ネットワーク 佐賀県難病相談支援センター2019年度通常総会（記念講演）. 2019, 6, 16. 抄録集.
- 20 阪本雄一郎, 三池 徹：近年の大災害に学ぶ普段の準備の大切さ. 西多久町防災避難訓練. 2019, 6, 23. 抄録集.
- 21 阪本雄一郎：救命救急の現状と未来について. 第4回 WasedaSaga Medical WorkShop. 2019, 7, 4. 抄録集.
- 22 阪本雄一郎：救急ステーション（講師）. 第51回共用試験医学系臨床実習前 OSCE 評価者認定講習会. 2019, 8, 3. 抄録集.
- 23 井上 聡：外傷手術トレーニング（講師, ディレクター）. 第60回 SSTT 座学1日コース（佐賀）. 2019, 8, 10. 抄録集.
- 24 三池 徹：AIを活用した被災患者情報の重みづけ. 第8回あじさいネット研究会（第3部シンポジウム・総合討論会）. 2019, 9, 14. 抄録集 p8.
- 25 鳴海翔悟, 中島厚士, 藤原紳祐, 石井博修, 鮫島隆晃, 柿本昌利, 村川 亮：精神・身体の救急連

- 携. 第42回佐賀救急医学会 (シンポジウム). 2019, 9, 21. 抄録集.
- 26 鳴海翔悟: PEEC コース (講師). 第2回佐賀 PEEC コース. 2019, 9, 21. 抄録集.
- 27 阪本雄一郎: 敗血症治療における急性血液浄化の選択. 第21回北九州 ER-CRITICAL CARE CONFERENCE (特別講演). 2019, 9, 26. 抄録集.
- 28 井上 聡: 「外傷外科診療の立ち上げ, 改革, そして最前線へ」 (講師). 2019年度第2回福岡市勤務医学会学術講演会 (市医共催) 《日医生涯教育講座1単位》. 2019, 10, 16. 抄録集.
- 29 三池 徹, 阪本雄一郎: 災害に備えたモデル地域の構築. 第57回日本糖尿病学会九州地方会 (シンポジウム6). 2019, 10, 25-26. 抄録集 p142.
- 30 阪本雄一郎: 外傷初期診療の診断と治療. 日本救急看護学会主催 救急看護セミナー 基礎病態セミナー (福岡会場). 2019, 10, 26-27. 抄録集.
- 31 三池 徹: 急性循環不全の病態と治療. 日本救急看護学会主催 救急看護セミナー 基礎病態セミナー (福岡会場). 2019, 10, 26-27. 抄録集.
- 32 井上 聡: 講演会 (講師). 大塚製薬佐賀出張所定期講演会. 2019, 12, 10.
- 33 長家聡明: 敗血症の初期診療. 敗血症 FORUM in SAGA (一般演題). 2019, 12, 19.
- 34 三池 徹: 講演会 (講師). 院内移植コーディネーター研修会. 2019, 12, 21.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	阪本雄一郎	新エネルギー・産業技術総合開発機構	戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第2期/ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術/AI間連携基盤技術 (分担)	健康・医療・介護 AI 連携基盤の構築	5,650
教授	阪本雄一郎	医療機関ネットワーク事業	(代表)		1,402 (242)
教授	阪本雄一郎	科学技術復興機構 (JST) 未来社会創造事業	探索加速型 (代表)	情報基盤と連携したリアルタイム救急・災害時支援システム	8,300 (290)

※ () は繰越金で外数